

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

主ご自身を味わおう

教団代表 岩上祝仁



「味わい 見つめよ。主がいつくみ深い方であることを。」（詩篇三四篇8節）

コロナのデルタ株による感染拡大が止まりません。色々な意味で教会にも個人にも苦しい状況が続いています。その中で主を味わうことができるなら感謝です。

三四篇は苦しみ、困難の中を通ったダビデの詩篇です。ダビデはサウロ王からの逃避行の最後にペリシテの王アビメレクの前で正体が暴かれそうになり、咄嗟に精神錯乱状態を装って難を逃れました。この苦しみの経験から生まれたのがこの詩篇です。私たちキリスト者も教会もコロナのため困難と戦いの中を通過しています。その中でも、教会にとって「集まらない」ことは、大きな苦しみです。またコロナ禍中のキリスト者生活もまた忍耐を要するものです。

苦しみの経験から、ダビデが学んだことが冒頭の聖句に書かれています。「味わい、見つめよ。主……を」です。苦しみの時、戦いの時に私たちの心と目は目の前の状況に固定され、苦しみの原因を探し、苦しみが取り除かれるために、何ができるかを真っ先に考えがちです。そのような苦難の中にも共にいてくださる主を見つけ、その主ご自身を味わうことが大切だとダビデは学んだのです。

このみことばは「味わい、見つめよ。主……を」と私たちにあって主ご自身はどのようなお方なのかをしっかりと受け止めるように勧めます。味わうとは、食感を感じつつ、その素材の旨味を味わい、さらに調

理による味付けも楽しみながら、食事そのものを楽しむことです。深く味わう時、甘味、塩味、酸味、渋味、そして苦味さえも私たちは味わえます。バランスよく調理されていけば、普通は美味しく感じない苦味さえも、美味しいと思えることは不思議です。現実の試練や困難、戦いの中で、私たちが信仰を働かせ、主を見上げる時に、苦味である苦しみの中にも、神の愛と恵みを私たちは受け取ることができるのです。さらに味わうのは主のいつくしみ深さ（原語では主の善）です。生きておられる主のご性質を知り、主の約束を握る時、主の善といつくしみ深さこそが、苦難の中で私たちに希望を与えてくれることを体験します。私たちの罪のために十字架にひとり子を送られた愛の神が、苦難の中にいる私たちを見捨てず、良いこと（善）を計画してくださると信じていることができるのです。

口には苦くて、酸っぱくて、辛すぎるような試練の中ですら、神の善と救いを信じると、神は試練さえも私たちにあって益と変えてくださるとの確信が与えられます。（ローマ八章28節）このコロナ禍も神にあっては、単なる苦しみではなく、信仰と忍耐を養うもの（益）となり得るのです。苦しみや試練も将来への希望と永遠の世界への道へとつながってくださるのが善であり慈しみ深い私たちの主です。試練の中を通して、私たちは主ご自身の愛と善のご性質を深く味わいます。そして主にあつてこの苦難の中でも信仰による希望を持って進んで行きましょう。

目次

- 主ご自身を味わおう……岩上祝仁……1
- 謝恩日聖日、女性牧師部、コロナ禍での教会……2
- 教団運営委員会、eラーニング、とにキャン報告……3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、世界宣教局……4
- 東北聖会報告、林間聖会報告、伝道会議に向けて……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

厚生委員会から

謝恩日聖日は9月19日です 引退された牧師を支える 厚生への働きのために

厚生委員長 里村佳子

教団は引退された牧師先生たちが、安寧な生活を送れるよう支援金制度や退職金制度を整えています。ですが、厚生委員になって教団の制度だけではフォローできないことがあると気づきました。その一つは引退後の住まいです。そこで、私どものケアハウス呉ベタニアホームを引退後の住まいの選択肢に入れていただくことにしました。

ケアハウスは、身の周りのことが自分でできる人が対象の住まいです。個室で食事が付いており、外出や外泊は自由。呉市から補助が出るので8万円程度で生活できます。さらに24時間スタッフが常駐しているので安心です。経済的に困難な先生の場合、教団からさらに支援する仕組みを創りました。

現在、インマヌエルの引退牧師や現役牧師のご家族など10名が入居されています。しかし介護が必要な状態になった場合は、次の施設に住みかえていただくことにな

ります。希望されれば私どものグループホームなどに入居できます。ある引退牧師の先生はケアハウスに入居され、その後、要介護状態になったので次の施設に住み替えて、最期をむかえられました。背後に呉教会の先生や信徒の皆さんの祈りと支援がありました。

先日グループホームに入居されている引退牧師のAさんを見舞われた方から、「A先生が、こちらに入居できて本当に良かった。そうでなければ、今のうちに安心して暮らせていなかった、と仰っていましたよ」と話してくださいました。私たちの働きが引退牧師の晩年にお役に立っているのだと励まされました。

謝恩日聖日は、伝道や牧会に生涯を捧げた引退牧師の先生たちに、感謝し祈りをささげる日です。この日を覚えてお祈りください。

▼厚生委員会 新信徒委員紹介
京都伏見教会 坂岡隆司兄 福音の尊いお働きに従事された器方の引退後の暮らしが、少しでも良い形で支えられますようにと願っています。よろしくお願ひします。



坂岡隆司兄



館野純生兄

神学院教会 館野純生兄 50年近く腎臓内科医として診療に携わった知識や経験が、生涯を伝道に尽くした先生方の生活、健康維持に少しでも役立てられれば幸いです。

女性牧師部から

コロナ禍だから、その交わり

Zoomを用いて

祈り支え合う時に

女性牧師部 阪下崇子

コロナ禍で活動にさまざまな制限を余儀なくされている中、年会などで全国の先生方が一堂に会することも許されていません。その中で思うことは、繋がること、支え合うことの大切さです。幸いにもZoomという、それぞれの教会に居ながらにして顔を合わせることができする方法に少しずつ慣れてきましたので、7月から新しく女性牧師部のZoom祈り会が始まりました。毎月1回、1時間以内という短い時間ではありますが、有志が集ってお祈りしています。日本国内に留まらず宣教地からも可能な先生方が参加してともに祈る、幸いな恵みの機会です。

短いことばのお勧めの後、小グループに分かれてお祈りします。祈る課題は様々、個人的なことから教会の働きのこと、教団に関わる課題までいろいろです。祈りの時間の後には、教区が違って今までの機会がなかった先生方との交わりも実現して、祈りの輪だけでなく、交流の輪も広がっています。祈りには神様と繋がるだけでなく、私たち同士も繋げる力があることを実感する祈り会です。

BAに聴く コロナ禍での教会……

ポストコロナを展望する ネット活用の扉を開けて

北日本 BA 細田恒太郎

本物よりもきれいなバーチャル空間にそびえたつ渋谷や原宿、六本木の町をアバター（仮想空間での分身）で歩き回り、一緒にゲームを楽しんだりする。しかもそれがスマホ一つでできてしまう。そんな時代になりました。

Facebookも、ツイッターも、LINEも、Zoomも、ネットの世界にそれほど深く足を踏み入れる性格ではないのですが、それでもコロナ禍、オンラインで集会をするにはどんな方法があるのか模索する中、そんな世界があることを知りました。恐らく、コロナがなければ、こうした世界を覗こうとすら思わなかったでしょう。

多くの教会が今では、SNSやYouTube、Zoomなどを用いて集会を配信しています。これもコロナがなければ踏み出さなかった教会が多いのではないかと思います。そして、こうしたネットを介しての活動は、おそらくコロナが終わってからも継続され、更に現実世界に近い形（バーチャル空間）

で広がっていくのでしょうか。こうした動きをみる時、使徒八章に記されているエルサレムでの迫害の記事を思い起こします。ステパノの殉教をきっかけにして始まった迫害のために、エルサレムのクリスチャンたちは強制的に、サマリヤ、ガリラヤ地方に出て行かざるを得なくなり、その場所でも福音を語り、その延長線上で異邦人伝道という扉が開かれていきました。歴史を後から見ると、エルサレムで起きた迫害の中に神様の不思議な計画があったように、今回のコロナの出来事も悲惨な出来事ですが、その中に神様のご計画があることを思わずにはいられません。私たちの多くも押し出されるようにして、オンラインの世界に足を踏み入れ、そこに福音を求める人がおり、また私たちもそうした世界で福音を語り得ることができると知りました。

異邦人クリスチャンの信仰の建て上げのためエルサレム会議が開かれ討議されたように、今後、オンラインでつながる人達がどのようにして健全な信仰を建て上げていくことができるのか、一緒に考えて行く必要があるでしょう。

初代教会の頃から宣教は総力戦でした。誰か一人が頑張っただけではなく、福音を伝える人がいて、同時にその働きを支える多くの人がいきました。ネット世界の伝道も一人でできるものではありません。これまで以上に、牧師と信徒の協働が必要とされています。

教団運営委員会から……

キリストの心を持ち 課題に取り組んで

広報 浜田耕三



蝉の大合唱をBGMにしなが
ら、教団運営委員会が7月27日に
オンラインで開催されました。
コロナ感染拡大が報じられ
る中、各局では果敢な働きが
進められており、諸課題への
検討が行われました。初めに
代表より、ピリピ二章11節
が開かれ、キリスト・イエス
の心をもって教団運営に臨
むべきことが語られました。

▼国内教会局より、「全国主
事会議」「コロナ禍の教会セ
ミナー」についての報告があ
り、幸いな研鑽がなされたこ
とを感謝しました。また、鉦
路教会の活性化を目的とし
た「鉦路セラホーム」の企画
が承認されました。格別、
常駐牧師不在の教会のため
にお祈りください。なお、教
団ホームページの「全国教
会案内」が新しくされます。
今秋開催されます(7つの)聖
会の祝福をお祈りください。

▼世界宣教局より、各宣
教師の働きの様子を報告さ
れました。6月中旬より奉仕
を開始された久保先生方(台
湾)を始め、依然として

コロナ感染拡大が続く中、現
地に労しておられる宣教師
方のためにお祈りください。
なお、豊田先生方(フィリ
ピン)は、半年間の休暇に入
られました。教報8月号より、
「広げた翼」欄にIWF宣
教師方の近況が掲載されて
います。▼教育局ではホーム
ページを刷新し、各部署の
働きがアップされています。
ぜひ活用ください。青年課
の「ビルド」(毎月開催)、「
YSBリトリート」に加えて、
生涯学習課による「秋の牧
師研修会」が予定されていま
す。テーマは「私たちのアイ
デンティティ」の再確認です。
▼聖霊学院では、8週間に
わたる夏期実習が実施されて
います。また、秋の入学審
査のためにもお祈りください。

▼9月の「謝恩日聖日」の
ために、是非ともご協力の
ほど宜しくお願い致します。
なお、厚生委員会より、9
月に予定されています「研
修ステップ1・2」(一足先
の未来を考える研修会)につ
きまして報告がなされました。

▼信徒局に対する貴重なご
提言を先生方、信徒総会代
議員の皆様より賜わり、有
り難うございました。頂戴し
ましたご意見を踏まえまし
て、まずは今秋の「全国信
徒フォーラム」に向けて体制
を整えて行くこととなりました
ので、ご理解とご協力のほ
ど宜しくお願い致します。信
徒局ではそのフォーラム開
催に向けての準備が着々と
進められています。お祈り
ください。



ウェスレーを学ぶ8週間のコースは2021年10月1日から開始

絶対見逃せない8週間コース
信徒の方からベテラン牧師の
ためにウェスレー講座を開講
します。ウェスレーを読み、
メソジストの働きとウェス
レーの神学について主要な
点を興味深く学んでみま
せんか。どなたでもお招き
します。週ごとにウェス
レーの資料を数点取り上げ、
20分ほどの講義を毎週
3〜4つ用意します。

8週8千円です。スマホでも
パソコンでも、すべての資
料・講義を繰り返し見ること
ができます。申込方法は12
ページに掲載します。

………

*8月号関東南ブロック近
況に「湘南中央教会」を加
えてください。▼湘南中央
教会は「礼拝とCS」は、
換気と消毒を徹底し、い
つも通り守っています。また
来られない方のためにオン
ラインをしています。

中高生キャンプ「とにキャン」報告

オンラインで開催しました 神さまの愛に触れた!



堺教会 蔦田聡毅

8月12日(木)、13日(金)の
2日間、オンラインで「とに
キャン」が開催されました。
昨年は午前中に中学生、午
後に高校生で1日だけの集
会でしたが、今年は2日使
って少しでも充実したプロ
グラムを届けようという意
図がありました。

参加者は中学生21人、高
校生32人、スタッフ/大人29
名の計82名でした。

2日間とも午前はZoom機
能を駆使したゲームで互に
協力し、緊張を解き、楽し
く過ごしました。講師と古
川先生の軽妙なMCでQ&A
に取り組んだ「とにキャン
チャンネル」も大好評です。

午後からは、開いた心にな
るためのメッセージを受け
取り、講師はとにキャンで
は5年振り2回目の大嶋重
徳先生。ルカ一五章の放
蕩息子の記事から、1日
目は弟と父、2日目は兄と
父の関係を通して、自分
たちの姿と、父なる神の
愛が鮮やかに映し出され、
一人ひとりが主の御前に
真実な祈りと決心する時
が与えられました。分かち
合いのミーティングを導

いてくださったリーダー
たちに感謝します。15の
グループの内、牧師が担
当したのは5つのみで、実
に10グループは青年たち
が担当され、その半数以
上がとにキャン卒業生だ
ったことは特筆すべきこ
とでした。他にもTシャツ
デザインやチラシ作成、
讚美CD作成にも、卒業
生の力が発揮されました。

実際に山で4日間のキャン
プを開催できることはあ
りません。早くコロナが
落ち着いて対面で開ける
ように祈り願っていますが、
大切な最後のキャンプを
オンラインで迎えざるを得
なかった卒業生たちの今
後の歩みのために、どう
ぞ祝福をお祈りください。

今年の様子は、とにキャン
HPでプログラムの一部とメ
ッセージを観ることができ
ます。視聴の際のパスワード
はHimawariです。

キャンパーを送り出し、
背後で祈り支えてくださ
った教会と皆様へ感謝し
ます。お祈りが応えられ
て、今年も素晴らしいと
にキャンでした。しかし各
キャンパーにとってさら
に大切なものは、キャン
プ後の歩みと教会生活で
す。色々な事情の中で、
またコロナもあって、し
ばらく教会に行けなかつ
た生徒もありました。キ
ャンプで決意したことを
教会に戻ってよく祈り、
自分で聖書を読むこと、
など、どうぞ寄り添って
励ましてあげてください。
そして今後の「とにキャン」
のこころや、とにフェス
、スタトレを覚え、今後
の活動のために祈りを
お願いいたします。

国内教会局から

コロナ禍にある教会
想定外の出来事

信仰生活には「想定外の出来事」に見舞われることが少なからずあります。夏になると九州、中国地方でも豪雨被害を心配しますが、今年の佐賀は空梅雨で、農業などの取水制限が始まっています。ところが8月



半ばに想定外の豪雨に見舞われ、大きな被害が起こりました。早速、佐賀県内の教会では協力体制を組み、ボランティアが始まりました。コロナ禍で活動も制限される中ですが、不思議なように回復の道を辿り、地域にも証しとなっています。信仰生活では自分たちの力ではどうすることもできない問題が起こり、真っ暗闇に放り込まれたかのような思いに陥ることがありますが、主は必ず脱出の道を備えてくださいます。個人も教会も、今は苦難の中に置かれているかもしれませんが、しかし不思議なように必要な知恵や力、気力が与えられ、主の脱出の道へと導かれるのです。主の脱出の道を信仰をもって歩んでいきましょ。 (阪下謙)

■米、イラクに粘土版「ギルガメシの夢」など返還へ
91年の湾岸戦争、03年のイラク戦争で多くの遺物を略奪されたイラクに、古代メソポタミア文明の遺物が多く含まれた遺物1万7千点が米国から返還された。人類最古の文献の一つとされる3500年前のギルガメシ叙事詩の一部が書かれた粘土版「ギルガメシの夢」も近く返還されるという。
AP通信などによると、イラク政府は3日、記者会見を行い、「先週、米国を訪れたアルカディミ首相とともに遺物が戻ってきた」と明らかにした。米国が返還した遺物のうち約7割の約1万2千点は、これまで首都ワシントンの聖書博物館が所蔵し、多くがメソポタミア文明の有名都市「アイリサグリグ」関連の遺物。特に、早ければ数週内に返還される「ギルガメシの夢」は、古代メソポタミア都市国家ウルク第一王朝の王ギルガメシに関する伝説で、「ギル

ガメシの夢」の大きさは横15cm、縦12cmで、聖書に出てくる大洪水、エデンの園などに言及する内容もある。
この粘土版は、03年に米骨董品仲介人が英ロンドンで購入後、密かに米国に搬入。14年に米美術工芸品店「ホビー・ロビー」が購入後、聖書博物館で展示してきた。最近、米連邦裁判所は、同店が「ギルガメシの夢」を不法なルートで入手したとし、イラクへの返還を命



海外トピックス

じる判決を下した。
■米ワクチン接種で最も抵抗強い白人福音派
米国で新型コロナウィルスのワクチン接種運動が始まって半年以上が経過したが、福音派のキリスト教徒は他の主要宗教グループよりもワクチン接種に抵抗を示しているという「ウォールストリートジャーナル」が報じた。
「公共宗教研究所」(PRRI)と「インタフフェイス・ユース・コア」が共同で行った調査によると、6月の調査では白人福音派の約24%がワクチンを接種するつもりはないと答え、3月では26%だった。様々な人種の福音主義者は米国人口の約4分の1を占めている。保健当局者は、彼らにワクチン接種を受けよう説得するところが、最近のコロナ感染者増の原因となっている変異ウイルス「デルタ株」の拡散を遅らせるために重要だと述べている。(平瀬聡樹)

世界宣教局運営委員会

情報の共有を大切に
主を中心とした連携



世界宣教局長 田辺寿雄

世界宣教局では、月1度のペー
スで運営委員会を開催しています。
メンバーは局長と各部長、局員の計7名(牧師6名、信徒1名)で、現在はオンラインで行っています。
毎回、前月の会計報告、各宣教師・宣教師の近況、広報部や支援部からの報告を受け、その時々が生じた案件のために話し合っています。局長として願うことは、これまでと同じことを単に続けるのではなく、必要に応じて変えるべきことは変え、新しいことにも挑戦していきたいということです。
会計報告も、時間を取って自由に質問や意見を出し合うようにしています。例えば、報告上の数字は千円単位から一円単位に変えました。一円でも尊い献金であることを忘れないためです。お金はあって当然、献金はささげられて当然という思いに私たちが決してならないためにも毎月の会計報告をみんなどしかりと見ることはとても大切なことです。その分、会計の小笠原兄には毎回たくさん質問が浴びせられて、大変申し

訳ないことですが。
宣教師ハンドブック改正に伴い、宣教師に対するサポート体制についても見直しました。特にお子さんがおられる家族へのサポートを少しばかりですが増やしました。また、国内の牧師に上・下半期の謝儀があるように、これまで「クリスマス・ギフト」だけだった宣教師方にも、上半期ギフトを差し上げることにしました。退職される宣教師や、国内教会へ転任される宣教師など、次のステージへ移行する際に必要な支援についてもその都度話し合い、限られた範囲ですが局としてできることを探りつつ最善を目指しています。
さらに新しいこととして、日本でご奉仕されるIWFの宣教師方との関係を強化していきたいと考えています。そのためにまず、教報の「広げた翼」欄の中で、IWF宣教師方の紹介や近況などを今年八月号より掲載し始めました。毎月ではありませんが、今後も続けていく予定です。9月28日に開催予定の秋の局員会に彼らをお招きし、オンラインでお交わりを持つことも決まりました。
世界宣教局の局員としてご奉仕くださる信徒が、1人でも2人でも新たに加えられていったらどんなに素晴らしいことでしょうか。そしてもちろん、主の召しに応じて宣教師となる方が起こされることも願っています。
いずれも関心のある方は局長までお問合せください。

第47回東北聖会の報告

揺るがないものを 閉塞感を越えた ホーリネスの歩み

秋田教会 神谷光一

「時宜にかなって語られることは、銀の彫り物にはめられた金のりんごのように忠実な使者はこれを遣わす者にとって、夏の暑い日の冷たい雪のようだ。彼は主人の心を生き返らせる。」(箴言二五・11、13 新改訳第三版)

東北聖会は7月31日(土)と8月1日(日)に、国内教会局長の大兼久芳規師をお迎えし、礼拝を含め3回の集いが持たれました。昨年同様、リモートでの開催で、教区を越えて北海道からも参加される教会があり、また普段は聖会に集えない方々が画面上で、距離を越えて顔を合わせ、共に聖会の恵みに与ることができました。

聖会テーマである「閉塞感を越えたホーリネスの歩み」のタイトルの合わせるかのような感染の急拡大が報じられる中で「揺るがないもの」が聖会を通じて一貫して示され、信仰者の日常にありがちな思いも汲み取りながら、やさしく、そして静かに心探られる主のみ声を一人ひとりが聴く機会となりました。

また、このために音楽ゲストとして動画を寄せてくださった福音歌手の森祐理さん、クリスチャン・シンガーのTAKEOさんらの美しく慰めに満ちた歌声と証しも、心に響くものがありました。集会后には、メッセージへの応答のために思い巡らしの後、各参加教会の紹介の時間が持たれ「近年やってみてよかった試み/最近応えられた教会の祈り」のテーマからも幸いでした。

さらに、聖日礼拝を含む聖会も、教区としては初めてのチャレンジであり、会場となった郡山教会の礼拝プログラムを各参加教会が共有する合同礼拝も、これまでにならぬ試みでした。そして、このことを快く受け入れてくださった、講師が牧する3つの教会の兄弟方、このために礼拝の御用を担ってくださった副牧の文字先生のゆえに実現した聖会でもありました。

ある教会では、しばらく礼拝から足が遠のいていた方が、久しぶりにサテライト会場である教会に足を運び「言葉で言い表せないほどのものを受け取りました。」との感想を残して帰って行かれたとのことでした。

今回はZoomを用いしましたが、同時に内容をFacebookで配信、また、集会后にはメッセージを限定公開でアップし、都合により出席がかなわなかった方々にも、恵みの川は注がれ続けています。

林間聖会2021の報告

2年振りにオンラインで開催 着実な信仰の歩みこそ



甲府教会 岡 信男

東京教区・神奈川教区共催の林間聖会が、8月9日(月)、初のオンラインで、2年ぶりに開催されました。「ゆっくり前へ：ニューノーマルを生きる信仰」をテーマに、講師の佐藤信行先生(関東南B A)が、午前と午後、2回の聖会でメッセージを語られました。

午前の聖会Iは、「起きて食べなさい」の題で、第一列王記一九章から語られました。「もう十分です」とエリヤが告白した理由が、イゼベルの猛反撃によって、置かれた状況が大きく変化し、失望と恐怖のためであったように、私たちも、大きく変化する時代にあっ

て対応できず、疲れてしまい、「もう十分です」と嘆き、失望することが指摘されました。「起きて食べなさい」との神様の一言は、坂道を転がり落ちるような私たちのテンポを変える言葉で、私たちに「ゆっくり」な日常の恵みが繰り返し供給されていることが説かれた。「ここで何をしているのか」との問いからは、神様が

私たちの先を進み、導いておられることが語られ、私たちが「前へ」確実に進んで行くための、神への信頼と献身が勧められました。

午後の聖会IIでは、「怒るのは当然？」と題して、ヨナ書四章から語られました。「生きているより死んだ方がましです」と述べたヨナは、神様が敵国ニネベへの災いを思い直された状況に怒り、その怒りは彼の正義感から来るものでしたが、私たちがまた、自分にとって不都合に感じる事態に直面させられると、神様を知っているがゆえに、ヨナと同様に不満を蓄積させ、時には怒りとなって表れることが問題提起されました。「当然であるかのように怒るのか」との問いかけは、「よく考えなさい」という意味であり、すぐには喜ばない導きや事実について、神様は、私たちがよく考えるための材料と時を与えてくださるお方であることが示されました。「惜しまないでいられるだろうか」の語りかけには、神様の心が込められており、私たちが、その神の心を心とすることで、生来の私たちが造り変えられる、ニューノーマルな生き方や考え方へと導かれること、また、主のペースに合わせることで、主との間に調和が取れ、その調和が周りの人々との間にも広がっていくことが語られました。

メッセージの音声ファイルと動画(YouTube)は、富士見台教会のホームページで10月9日まで公開中です。ご視聴ください。

JCE7の紹介と祈りの課題



名古屋教会 内山 勝

JCE7(第7回日本伝道会議)は、2023年9月19日(火)〜22日(金)、長良川国際会議場(岐阜市)を主会場として、東海地域で開催されます。

▼テーマは「終わり」から「はじめる」宣教協力です。「終わり」には3つの意味が込められており、①現在の手詰まり状態II終わり、②主のご計画のゴールII再臨II終わり、③開催地の一地名(尾張IIおわり)II各自が置かれた地域から始めようという意味です。

09年札幌大会で7年毎の開催を決め、16年神戸に続き、23年東海という流れになっています。

▼今回の大会の特色は、

- ・場当たりのイベントとせず、15ほどある継続プロジェクトの成果を7年毎に検証・共有して行くための一里塚的な意味があります。
- ・JEA枠を超え、日本の福音化を願う全ての教会に参加を呼びかけます。また、牧師・信徒が対等な関係で重荷を共有します。
- ・現地で約千人、リモートでもかなりの参加者を見込んでいます。
- ▼2年前大会を9月17日、24日に予定しています。お祈りください。

巻頭言

どうしてそこまで
するのですか?



世界宣教局
平瀬義樹

「あなたが水の中を過ぎるときも、わたしは、あなたとともにいる。」(イザヤ四三章二節)

奇しい事をなさるイマヌエル
の主の御名を心から賛美します。



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

I G M全国教会の諸先生方、愛する兄弟姉妹の尊い篤いお祈りとご支援に支えられ、台湾宣教教師の交代が完了しました。 讃美主！

一昨年よりの世界大のコロナ禍の影響は凄まじく、ビザ申請は幾度となく変更中断、発給後もコロナ対応が時々刻々変化しました。来台の見通しが全く立たず、予定を繰り下げ、繰り上げ、果ては前倒しの形で、急遽、5月18日、久保先生ご一家を台湾にお迎えすることができました。 感謝主！

その後三週間に亘る在宅隔離、台湾でも感染拡大に伴い警戒措置でネット礼拝となりました。規制制限後、8月より対面集会も再開されました。 感謝讃美主！

どうしてそこまでするのですか？

どうしてあのギリギリのタイミングで入国できたのですか？
何人もの人から受けた質問です。何度も祈り、自問自答しつつ、一つの答えに導かれています。それは、冒頭聖句、「主がともにおられた」からです。まさに「主のなさったこと」なのです。

冒頭の聖句は、預言者イザヤを通してイスラエルの民に語られた主のみ守りの約束でした。しかも彼らは主に聞かず、従わない民であったにもかかわらず、与えられた主のお約束なのでした。水の中を過ぎる時も、ともにおられる主は、川を渡る時には押し流されないように、火の中を歩く時には焼かれず、燃えつかないように守り導かれました。主のともなうところではみな、このとおりなのです。今回の一連の動きの中で私たちが体験したのは、まさにこの事実でした。状況を知らない人は、たまたまとか、運が良かったとうそぶきます。けれども、主の導きを確信していた私たちには、それは偶然でも幸運でもなく、必然であり、当然の事だったのでした。

I G Mの世界宣教の火は、変わることなく、受け継がれています。「聖と宣」の使命は、創立から変わりません。時代や周囲の状況が変わっても、少しも変わらないのです。なぜでしょう？ それは、その使命が主イエスさまから与えられたものだからです。(マタイ二八章19、20節)



CHINA

香港

鹿島義喜・朱蕙芬* 2021年8月5日

「主は大洪水の前から御座についておられる。主はとこしえに王座についておられる。主はご自身の民を平安をもって祝福される。」(詩篇二九篇11、12節)

いつも香港のためにお祈りをあげようと思います。

香港では、7月1日は香港特別行政区返還記念日(24周年)でした。去年6月に発出された香港国家安全維持法の影響で、祭典も大分縮小、6月4日の追悼記念集会も非合法とされ、毎年行われてきた教会での記念祈祷会やミサも新しく導入された国家安全警察による監視の下で行わざるを得ないなど、ますます監視社会が形成されてきています。教育面では、幼稚園から大学まで、国家安全教育として進められています。宗教面にも弾圧が及ばないようにお祈りください。

コロナウイルスの感染は抑えられています。若い世代のワクチン接種は進んでいますし、位置

アプリの利用も政治的な不信からほとんど拒否されている状況です。香港イマヌエル教会は6月7日に創立12周年を迎えることが許され、6月4日創立感謝礼拝を捧げることができました。ただ、ここ1年間、集会制限令のため公共の場で4人を越えて集まることができなくなっていました。しかしワクチン接種などにより少し緩和され、4月4日のイースター礼拝からは人数制限はありませんが、対面礼拝も許され、音声礼拝と並行して持たれています。

そのような中で、ほとんど休むことなく再開された対面礼拝に喜んで参加されていた兄弟が71歳の誕生日を前にして、空手教室運営の心労もあり、突然倒れ、救急車で搬送され、入院されました。ただコロナ禍にあり、お見舞いもできません。教会では祈りの手を挙げていますが、特別にワクチン接種者は、登録をすれば面会が許されるということで、ワクチン接種を終えていた牧師が見舞い、祈ることになりました。

近隣への働きは、3週間の指定場所での隔離の中、見動きが取れない状態が続いています。香港での感染者は、ここ50日以上ゼロが続いています。それにも拘らず、香港の場合には他の理由があるようにも思えます。邦人の方も自由な中におられるので、主が再び門をお開きくださるようにお祈りください。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2021年8月8日

宣教師ビザと外国人登録証が無事に更新され発給されました。通常2、3か月のところ、今回は代理人から、現在移民局ではコロナ対策で人員削減で、いろいろな手続きが遅れていると聞いていたのが覚悟していましたが、なんと6か月かかりました。こうして無事に宣教師ビザが再発給され、取得できたことを主に感謝しました。皆様のお祈りに心より御礼申し上げます。

先月、家族でお世話になっている歯科医の先生が体調が悪いとコロナを疑い検査に行くと、コロナではなく乳がんが見つかり、緊急手術を受けられたとのこと。手術が無事に終わった後、感謝ということで先生のご自宅へ女性の教職牧師ばかり6人で招かれ、ご家族からたくさん話を聞きました。フィリピンでの教会、伝道の基本も家庭訪問です。恭子にとって初めての牧会的家庭訪問の機会です。もってと語学力をあげていこうと改めて強く思う機会にもなりました。

がんがわかってから今までの2か月間で、歯科医という社会的な成功がありながらがんになるという「不幸」は、教会（信仰）のせいではないかと、たくさんのご友人、ご親族に言われたようです。フィリピンのプロテスタント教会内でもホーリネス派は多数派ではないので、具体的に「無条件的選び」「限定的贖罪」「不可抗的恩恵」について間違っていると説かれたり、「ウエスレアン教会の千年王国の理解は前、後、無、のどれか」と挑まれたり、というお話を聞きながら、信仰の戦いの激しさに圧倒されました。その全てに「がっぷり四つ」の理論で返していかけたご主人もすごいと思いました。が、奥様も「ウエスレアン教会で経験する愛情が私には必要」と静かに返されたというお話に、礼拝以外の平日の聖書の学びと愛の実践の大切さ、またご奉仕を誠実に続けてこられた代々の牧会者を改めて覚えて、育ててくださる神様の恵みとその栄光にも触れたように圧倒される思いがしました。3人の娘さんたちとご家族は、今回大嵐の中で叫び、潮れそうになる自分たちとは対照的に、静かに強く信仰に立っておられるご両親の様子と教会の方々の愛情に触れ、彼女たちにとっても信仰の転機になったとのこと。主牧先生方がフォローアップしておられます。



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2021年8月7日

自動車免許更新。ネットで上手く行かず手続きにケリチョーへ。本人確認辺りを操作され解決。ただ、撮影と指紋確認の機器が動いていないので明日または後日来て下さいと言われ1日目終了。主任に休暇延長申請。帰宅後ネットで手続き。途中でできたが支払いに進めず。翌日。機器はまだ動いていないが待っていたら直るかもと言われて待ち、2時間位で動き始めた。感謝。支払いの件は、現在保有の免許証の認識辺りを操作されて解決。階下のネット代行サービスで支払いができるが、支払い後24時間は次の操作ができないので、明日または後日来て下さいと言われ2日目終了。支払い後、領収書を貰って帰宅。休暇延長申請。超過勤務の払い戻し扱いにして下さるとの事。翌日は前日の領収書を提出、短い操作で完了。1か月後チップ入りカードができるまで領収書が免許代わりになります、と言われ3日目終了。3日間

の途中「日曜日に市場へ」の歌が浮かんだ。トゥリヤトゥリヤと煙に巻くような歌とは違い、一区切りついて終わったので感謝。従来の免許証は、最初の申請時の写真を維持、更新手続き証明書を貼り重ねていた。引退間近の宣教師の30数年前の写真が拝見できたりする楽しみ(?)が無くなり、ちよつと残念。「都会」のケリチョー、帰路に自分や他の宣教師から頼まれた買い物したり、WGMからの最近の要請で現地の方に運転を頼んだので往復で熟睡したり、思いがけず良い休息の時となり感謝。

新型ウイルスの影響でウェブ卒業式をし、周手術期看護の専門看護師となったA兄とS姉のお祝いの時を持つ。S姉は数年前に新卒採用でしばらく手術室配属だったものの、移動してしまい、また定着しなかった、と残念に思っていた。最近再配属になり感謝だった。なんと専門看護師になつていたとはうれしい驚き。

数年に渡り整形外科医師として奉仕されたM医師の送別会も。どちらも直接出席はできなかったが、最近予定外で与えられた材料が活躍して作成できたケーキが参加して記念に加わったのは感謝。

お祈りいただいたホットスポット指定による制限は指定地域の感染率の減少を受けて7月31日をもって緩和。感謝。一方でナイロビ周辺等の感染率がまた上昇しているとか。引き続きお祈り下さい。



CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃*2021年8月5日

「5羽の雀……そんな雀の1羽でも神の御前で忘れられてはいません。……あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。」

(マタイ一二章6、7節)

手をのばしても届かない距離の愛するカンボジア、もどかしさを覚えながら御言葉を求めて開いた時、主が雀よりも価値のあるクメール人を覚えてくださることに平安と慰めをいただきました。IT時代、スカイプによる顔と顔を合せての交信は、むしろ現地にいる時よりも心を開いた会話となることに不思議さすら覚えます。特に7月末にはグレッジ宣教師、マーク宣教師との個人的交信を持つように導かれ日頃から感じていたお二人の宣教の働きについて現地では踏み込めにくかった霊的面の語り合いが許され、互いのためのお祈りをもって締め括った後の彼らの顔は平安と恵みが取り戻されたことを頷くことができ、私自身が恵みをいただいたひと時で



ヴァンディ師のお父様の回心は
一歩ずつ主に近づいて行かれなが
らも、「聖霊によらざれば誰もイ
エスを主と言う事能わず」の御言
葉は事実です。一方、お母様に段々

した。
毎月このような時を持つことに
して、ヴァンディ師とも相談の結
果、新局長・田辺先生と現地の許
される限りの伝道者方とのZOOM
M会合を計画することにしまし
た。彼らが独自の「セルフ・サ
ポートの教会建設」を目指した群
として出発するように導かれた詳
しい経緯を理解した上で、神様に
よる神様の御心の達成を祈り求め
つつ、支援者と宣教地の両者が御
霊に導かれた宣教の働きが許され
るようにと祈りつつ前進を見るこ
とができるようにと願わされてお
ります。

台湾国内での新型コロナウイルスの警戒レ
ベルは三級が続いていましたが、
国内感染者の減少等を受けて7月
27日0時から二級に下げられまし
た。三級警戒の間は行政の指示で
対面で集会を行うことができませ
んでしたが、二級に下がったこと
で対面の集会が再開できるよう



久保光彦・せきな * 2021年8月6日

と信仰のリバイブの恵みと成長が
見られ始めました。写真のように
息子の導きに従って聖書を読み始
めましたことが開眼・成長に繋が
る要因だとヴァンディ師のコメン
トです。お父様は目が悪く、中々
聖書自体に繋がらないことが難し
い原因です。その上、最近耳が聞
こえづらくなり、直接聖書を目の
前に開き御言葉によって回心に導
かれることを祈りつつアプローチ
をとお勧めしております。引き続
きお祈りをもって救霊戦にご参加
いただけますようお願い申し上げます。
常のお祈りに心から感謝申
し上げつつ。 ■

台湾でもワクチン接種が進んで
おり、外国人も希望登録ができる
ようになったという事で、人の出
入りがある環境ですのでワクチン
接種が早めに受けられるようにお
祈りいただけると感謝です。 ■

なり、7月27日の午前の祈祷会か
ら、対面の集会を再開しました。
警戒級数が下がったとはいえ、不
安な要素が多く、ネットでの集会
参加を選択される方も一定数おら
れます。当面、対面とネット配信
のハイブリッドでの集会運営を検
討しているところです。

対面での集会が再開できるよう
になりましたが、無条件での再開
というわけではなく、1.5mの
社交距離を保って「梅花座」(市
松模様)の形で座ります。また、
出席される方に行政発行の教会固
有のQRコードのスクリーンとSMS
送信をお願いし、それにより濃
厚接触者や感染者が関係者の中
にいた場合に早期の追跡が可能と
なっています。それらの制約はあ
りますが、可能な方は対面の集会
に加わってくださっています。

赴任後、三級警戒の間は許され
ませんでした。警戒が二級に下
がったので、先日初めて家族全員
で教会に行くことができました。
実際に信徒の方々と対面での交流
わりが始められたことはとても感
謝でした。信徒のご家族の中には、
牧師家族の子どもたちと年齢が近
い方もおられ、子どもたちにとっ
ても教会が楽しい場所になれば
と願っています。

香港(鹿島)
教会の13年目の歩みが祝され、
新しい方も加えられるように
◆牧師の健康が支えられることも
に病いの戦いの中を過ごされている
教会員のために
◆香港の大きな社会変化の中、表
現の自由が保たれ、思想・言論統
制から守られるように
◆近隣の感染状況が再び悪くなっ
ているというニュースが聞かれる
中、隔離政策が緩和され、出入り
が許されるように
フィリピン(豊田)
◆新学期が始まった聖書大学の学
生たちと先生たちのために
◆ウエスレアン教会の霊的、経済
的な必要のために
◆事故、事件、怪我、過ち、災害
病氣、疫病から家族が守られます
ように。常夏の右目網膜(網膜静
脈閉塞症)の回復のために
ケニア(鳥田就子)
◆車の免許更新が無事できた感謝
◆ウイリス関連の様々な長期スト
レスの中にある患者さん、ご家族
スタッフのため
◆麻酔科、整形外科をはじめとす
る働き人(ルカ10:2)が起さ
れるように
カンボジア(鳥田縁乃)
◆伝道者全員が御霊に満たされ、

神との交わりに生きることを祈り
求めるように
◆獄中に留められているパウロ兄
が獄内で福音の使者として立つ事
ができるように
◆グレッグ宣教師の二人の娘さん
の霊的な確立、ヴァンディ師のご
子息タビタ君の教育費のために天
の倉が開かれるように
台湾(久保)
◆警戒が二級に下がったが、人流
が増えることで感染の再増加など
がないように
◆対面での集会が再開されたが、
家族に持病があるなどの理由で願
いづつも出席が叶わない方々がお
られる。一日も早く出席が許され
るように
◆国内の警戒レベルは二級に下
がったが、居留証を持たない外国
人は依然として入国できず、査証
の申請も停止されたままである。
台湾への留学、仕事での渡航など
を考えておられる(邦人の)方々
に少なからぬ影響が出ていると思
われる。そういった方々が可能な
限り早く渡航できるように
◆教会員一同、関係者、牧師家族
のこころから支えられるよ
うに

会計報告7月分
宣教献金 一、八〇五、九六五円
月平均 一、七四八、八八八円

お祈りの課題
香港(鹿島)
教会の13年目の歩みが祝され、
新しい方も加えられるように
◆牧師の健康が支えられることも
に病いの戦いの中を過ごされている
教会員のために
◆香港の大きな社会変化の中、表
現の自由が保たれ、思想・言論統
制から守られるように
◆近隣の感染状況が再び悪くなっ
ているというニュースが聞かれる
中、隔離政策が緩和され、出入り
が許されるように
フィリピン(豊田)
◆新学期が始まった聖書大学の学
生たちと先生たちのために
◆ウエスレアン教会の霊的、経済
的な必要のために
◆事故、事件、怪我、過ち、災害
病氣、疫病から家族が守られます
ように。常夏の右目網膜(網膜静
脈閉塞症)の回復のために
ケニア(鳥田就子)
◆車の免許更新が無事できた感謝
◆ウイリス関連の様々な長期スト
レスの中にある患者さん、ご家族
スタッフのため
◆麻酔科、整形外科をはじめとす
る働き人(ルカ10:2)が起さ
れるように
カンボジア(鳥田縁乃)
◆伝道者全員が御霊に満たされ、

*台湾の久保光彦宣教師のお証し
動画が完成しました。世界宣教局
HPでご覧いただけます。



聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

失意の時こそ

院長 ● 林 正弘

「主は『エリヤよ、ここで何を
しているのか』と言われた。」

(列王記第一一九・9)

伝道者はいつでも明るく元氣、
という印象を持たれることが多い
かもしれません。人の前に立つと
き、無意識にそのようにふるまっ
てしまうことがあります。無理に
元氣に見せようとすることさえあ
るかもしれません。しかし、人間
である以上、そうではないときが
あります。十分な睡眠も取れずに
働き続ければ疲れ切ってしまうま
す。苦悩で顔をゆがめることがあ
ります。むしろ、失意の連続といっ
たほうがより現実に近いのかもし

れません。

エリヤは主のために大きな働き
をした預言者でした。カルメル山
でのパアルの預言者たちとの対決
はその働きの頂点といえるでしょ
う。しかし、そのすぐあとで、エ
リヤは自暴自棄と思える状態にな
ります。燃え尽き症候群になった
ともいえます。彼は自分の死を願
い、「主よ、もう十分です。私の
いのちを取ってください」と言っ
ています。そんなエリヤを主は丁
寧に取り扱われます。食べ物を持
え、御使いを通して二度にわたっ
て「起きて食べなさい」と言われ
ました。そして、食べ物に力を得

たエリヤは神の山ホレブにまで行
きました。そこで主は「エリヤよ、
ここで何をしているのか」と語り
かけ、また「山の上で主の前に立
て」と命じられました。エリヤ
は、かすかな細い声のなかに主の
臨在を感じ取りました。まだ「た
だ私だけが」と閉じこもった殻か
ら抜け出せない状態でしたが、主
は「帰って行け」と新たな使命を
エリヤ与えて彼を立ち上げらせて
くださいました。

私たちの信仰の歩みと奉仕のな
かで失望落胆することはありえま
す。そのとき主は語りかけて、自
分を省みる機会としてくださいま
す。また力を与え、行くべき道、
なすべき務めを示してくださいま
す。失意の時こそ主に期待して前
進できたなら幸いです。



神学院本館 神学生は夏期実習に出て、いまは静寂そのものです

神学院後援会から……

いくつかのお知らせ そして祈りの課題

会長 中山朝雄

せていただくため、献身者がこれ
からも更に与えられますように、
共に熱心に祈りの手を挙げ続け
たく願っております。(マタイ二一
章22節)

祈りの課題

1 コロナ禍にあつての夏期実習
が実り多き恵みの時となりますよ
うに

BTC後援会の活動のためにお
祈りとご支援を頂き心より感謝い
たします。後援会は、全国の教会
の皆様にも神学院をより身近に感じ
ていただき、献身者が興されるよ
うにお祈りとご支援をお願い致し
たく4年前に設立しました。今年
からは、後援会の経済的自立を展
望して後援会費のご協力をお願い
し、多くの教会と信徒の皆様から
ご支援を頂いておりますこと、主
の御名を崇め感謝しております。

9月の神学院キャンパスは、神
学生が夏季実習で不在のため静か
な佇まいの中にありますが、秋か
らの学びと寮生活に備えるため設
備のメンテナンスが行われており
ます。また、キャンパス維持には
多くの奉仕者を必要としておりま
す。信徒の皆様で与えられた賜物
を神学院で生かしていただかせ
んか。具体的な奉仕は、下記4に
記載しております。ご検討いただ
き、ご支援をお願いします。

満子姉までご連絡ください。
教団の未来は神学院にかかって
おります。神様は私共に素晴らし
い場所を備えて下さいました。こ
の地を御心に沿って十分に用いさ

ることを願っています。

入学審査日は9月6日です
3 神学院の経済的な必要が満た
されますように
女子寮キッチンの改修、図書館
空調改修が必要です

4 神学院でご奉仕して下さる
方々のために
また、必要な場所(食堂、図書
館、営繕、ベテルハウス)に奉仕
者が与えられますように

5 今年から開始された「BTC
後援会費」(一口五百円)に教会
や信徒の方々が加わって下さり、
後援会の経済的な自立がなされま
すように

6 後援会の世話人になってBTC
のために祈りの手を挙げ続け、
教会とBTCの架け橋となつて下
さる方が更に与えられますように。

◆学びや生活の中で想う事

愛を知り愛し合う

正規コース 林 眞光

「愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛して下さったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。」

いつもお祈りに覚えていただき、ご支援をして下さることに感謝いたします。

前期の授業が無事終わることができました。コロナの影響もありながらも対面で授業を受けることができました。また食堂が再開し、おいしい食事を皆さんと一緒にいただくことができました。まだまだ制限が続く中ですが、学院の方々と交わる機会が与えられて感謝でした。

この前期を振り返る時、私は様々な方の愛に支えられて生活していたのだと気づくことができました。まずは食堂の準備をして下さった姉妹方です。火曜日と木曜日に学院に来て下さって早い時間から神学生のために、また集まるスタッフのために食事を用意して下さいました。食事をいただく私はお礼しか言えませんでしたが、いつも優しく受け答えして

下さったことを覚えております。また私が体調を崩してしまったり時、寮監の先生が私を気遣って下さって病院まで送り迎えをして下さいました。それだけではなくその日の夕飯や飲み物などいろいろ頂きました。このご時世で病人に近づくこともばかれるような時期ですが、私のことを気にかけていただいで仕えて下さいます。

今回挙げさせていだいた方々だけではなく、本当に多くの方に支えていただきました。表に出る行動だけではなく私のために祈って下さった方もたくさんいました。このようなことを振り返ったときに私は素直に「すごいな」と思いました。自分の時間や大切なことを犠牲にして、こんなに人のために仕えて下さる。今まで自分には人に仕えることができて、愛することができていたと思っていました。そのような気持ちで恥ずかしくなるほど自分は人を愛することができていなかったと気づきました。見せかけは優しいかもしれないが、その優しさは自分がいい人だと思われたいという気持ちから出ているのではないかと反省しました。

ヨハネはここで「神がこれほどまでに私たちを愛して下さったのなら」と語っています。私たちは神様から愛されていることを知ること、互いに愛し合うことができるということだと思います。自分の気持ちや愛だけで人を愛そ

うとすると限界があります。しかし聖書はまず神様の愛を知りなさいと語っています。人を愛することが自分の力ではなく、神様の愛を知ることから始まるのは大きな励みです。



◆学びや生活の中で想う事

主の恵みゆえ

正規コース 森 徳子

前期の授業が終わり、夏期実習期間に入りました。入学から早4か月、ここまで守り、学びを導いて下さった主に感謝するとともに、皆さまのお祈りやご指導、サポートを感謝致します。

前期の学びや生活の中で特に注意していたのは、律法主義にならないようにということでした。課



神学院図書館 書庫スペースは限界に近づいています

題をクリアしさえすれば良いのではない、デポジションをすれば問題ないのではない、というものです。主のご用に整えられるための課題、主の恵みゆえのデポジションであるよう、祈りながらの日々に追われて、ただ提出だけが目的になっていくこと、またとりなしに夢中になり、いつしか自分と神さまとの時間を忘れていたことがあったからです。私の計画を超えて、主は必要を与え、無理なくさせて下さいました。

(ルカ二二)

「パリサイ人のパン種、すなわち偽善には気をつけなさい。」

夏期実習の間は、授業から離れて、現場である教会に遣わされます。私が派遣されたのは、徳島県にある母教会でした。教会内に住

み込めるスペースはないために、実家から通っています。ほぼ一人で過ごす寮生活とは異なり、家族と過ごしながらの生活ですから、時間が経つのが早いこと早いこと。意識して時間を聖別することの必要性を感じています。

さて、実習が始まってすぐに一人の聖徒が召され、教会で葬儀を行うことになりました。実習生として教会葬儀を学びつつ、召された方と交わりを持った者として、思いを馳せながらの準備・葬儀でした。コロナ禍の影響はここにもあり、親しく交わってこられた教会員の方々の出席さえも制限される中、実習生として参列が許され、将来に備えさせて下さっていること、ただただ感謝です。

夏期実習に入る2週間ほど前から、寮の冷蔵庫内をほぼ空にするために、買い物控えたり、考えて買うようにしていました。なにせ2か月の間を留守にするのですから、余らせるわけにはいきません。最後の1週間は、具体的にメニューを考え、どの材料を使うかを決めます。3日前ともなると、野菜を買うのが難しくなりました。そんな時、神学院で買ったナスやピーマン、ミニトマトをくださったのです。思わぬ主の助けでした。そういえば、前にカラスが神学院のミニトマトをくちばしにくわえていたと思い出し、私もカラスも、天のお父さまが養って下さっているんだと感謝したことでした。

いま神学院では……

第一コリント書を学ぶ

教師 ● 葛田崇志



今年の前期は第一コリント書を学びました。目指したことは主に二つ。第一に釈義の世界を味わって頂くこと、第二に第一コリントの世界を味わうこと。授業の内容については『後援会たより』9号に紹介しました。本稿ではクラスでの事柄をいくつか紹介します。

クラスの皆さんと共に改めて第一コリント書を精読して、思いの外多くの気付きが与えられました。これまでの理解を修正したり、またパウロに対する理解も深まりました。これまでの理解で良かったと確認する部分もありました。これらの修正や確認は実に有意義です。なぜならばその一つひとつが注意深い釈義の末に生み出されたものだからです。このような深掘りが伝道者の書齋を豊かにし、講壇のことばを確かなものとしめます。

このクラスでは第一コリント書を繰り返し読んだことも大きな収穫でしたが、今回は釈義を意識し、もう一つのことばにチャレンジしました。小型のものではありますが、注解書を一冊皆で読破したことで、ティンデル聖書注解シリーズ

からレオン・モーリス著を取り上げ、図書室の協力を得て、注解者から得られる情報や考え方を重ねて第一コリントを読み進めました。そのような作業をする中で、いくつか釈義の役割や方法について収穫を得ることができました。

第一に注解書を辞典や参考書のようにして利用するのも一つの方法かもしれませんが、その注解書を執筆した人物も聖書に対する真摯で専門的な研究を収め、そしてしばしば敬虔な信仰者であることを意識しました。注解書は本棚に陳列された書に留まらず、世界の聖書学者たちとを結ぶホットラインに見立てることが出来ます。注解者たちにも伝えたい使信があり、より深い聖書理解に貢献しようという熱い思いがあるのです。それらは注解書の序論や脚注、緻密なデータの陳列にも込められていて、熟読すれば相当量汲み取れます。彼らと会話を交わし、聖書の本意を探ることが、私たちの書齋の充実につながることを学びました。

もう一つ学んだことは、釈義の営みは絶えず現在進行形な作業だということ。注解書は絶えずアップデートされています。牧会の現場も絶えず変容します。数年前学んだことも、やがて賞味期限が切れるのです。しかしこれは決して脅威ではありません。その都度私たちが祈るべきこと、主の召しに応答することが出来ます。今回のクラスではそんな希望を共有することが出来ました。

同窓生の近況

61期生

シオン教団 取手教会 ● 坂本憲子



「人の心には多くの思いがある。しかし、主の計画こそが実現する。」(箴言19章21節)

多くの方々の祈りとご協力に支えられ、今年4月から取手教会で奉仕させて頂いています。

取手教会は礼拝出席人数の平均が約11名の小さな教会ですが、主の臨在と、主と人への愛とで溢れています。周囲200メートル以内に総合病院と小学校がある一方で、徒歩5分で一面の田園を臨むことが出来るのかな場所です。

どこまでも続く田圃と青い空の間で、小さな自分の存在が風に吹かれて感じるながら、「主のみこころ」と信じ祈り進もうとしました。でもなかなか思い通りに事が運んで行かないことに苛立ち、奮闘していた日々。実はその背後に主はおられ、確かにみこころが行われていたことを思います。

取手教会が「すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられる」主のみ思いとひとつにされ、主の手足となつて働くことができますように祈っています。お祈りを感謝します。

神学院スタッフ…恵みの想起

神さまに仕える喜び

学監 梅田 昇

「私はあなたのみこころを行うことを喜びとします。」(詩篇四〇・8)。

大学時代救われ、九州聖会に参加し、召命を受けました。始良教会から献身し、聖宣神学院で幸いな訓練を受けました。最初の任地は蔵教会開拓。その後フィリピン山岳地で聖書学校を始め、数年後に卒業生が与えられ、毎年卒業生が起されたのです。セミナーで学び、日本語教会やウエスレアン教会で奉仕することが許されました。2005年に帰国し、市川教会を経て、現在は中目黒教会で奉仕しています。学院教師としては帰国した年から奉仕しています。開拓伝道、宣教地の神学教育、牧会伝道と場所や立場は変わっても神様に仕えることは喜びです。

●9月は神学生が夏期実習のため学院の何処もシーンと静まりかえっています。聞こえてくるのは蝉しぐれと小鳥の声、時にはカラスの鳴き声ばかり。一日居ても誰とも会わない時もあります。主を身近に感じられる恵みの場所を働かせて頂いていることに感謝しています。

●8月3日に神学院運営委員会が開かれました。特に図書館が来年開館70周年を迎えるに当たり、神学生だけでなく、近隣の牧師や信徒の方々にも利用し易いよう設備を整え、充実させることを検討していくことになりました。

●女子寮キッチンの改修工事は夏期実習中に行われ、後期が始まる前には完成する予定です。

●BTC後援会の祈りの課題(9ページ)をご覧いただき、学院のために引き続きお祈りをよろしくお願いいたします。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。7月の会計報告をさせていただきます。

7月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥1,500,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥515,670
教会団体による「神学院献金」
¥509,025
合計 ¥1,024,695
その他の献金(一時・特別)
¥103,800

・振替：00230-0-10138

学苑だより



公報

本部通達

「私にあなたの仰せの道を踏み行かせてください。私はその道を喜んでいきますから。」

(詩篇一一九篇35節)

新型コロナウイルス感染症の第5波を受けて、緊急事態宣言が各地に広がる中、秋に向かいます。人との関わりが制限される中にもありますが、各教会に主の守りと祝福が豊かにありますようにお祈りいたします。

オンライン、DVDで開催される秋の聖会、聖化大会も祝福されますように。主の道を踏み行く私たちに喜びが与えられますように。

■本部

〈辞令〉

7月9日付をもって以下の任命を行いました。

蕨田聡毅牧師を彦根教会の主任牧師に任命する(兼任)

双森文昭牧師を彦根教会の協力牧師に任命する(兼任)

2021年7月9日

教団代表 岩上祝仁

▽佐藤道直師は7月9日付で休養に入られました。

〈会議〉

7日(火) 教団運営委員会(人事委員会) オンライン会議

〈教団謝恩日聖日〉

9月19日(第三日曜日)は教団の謝恩日として定められています。引退された先生方の日々の

生活が祝され、主の平安の内に過ごされますようお祈りいたします。謝恩日感謝献金の実施及び厚生資金献金、厚生委員会の働きのために祈りをお願いいたします。

〈一足先の未来を考える研修会〉

(研修ステップ1・2)

9月27日(月) 14時~17時

9月28日(火) 9時30分~12時

会場|| 呉ベタニアホーム(十オンライン)

*対象の方にはすでに申込み要項をお届けしています。

▽本部業務は、毎週火曜日のみ、午後1時~4時まで総務局職員が1名常駐しています。出版事業部は木曜日、常駐者1名を置き午後1時~4時まで業務いたします。

■国内教会局

〈会議〉

9月13日(月) 全国BA・教区主事会議(オンライン会議)

〈教区会〉

9月13日(月) 全国BA・教区主事会議(オンライン会議)

〈教区会〉

神奈川教区 9月14日(火)

静岡教区 9月21日(火)

北海道地区 9月21日(火)

北越地区 9月27日(月)

南九州教区 9月27日(月)

北越地区 9月28日(火)

中京教区 10月4日(月)

《各地域聖会開催情報9~11月》

▽北関東聖会 (YouTube開催)

9月20日(月) / 講師|| 田中進師

▽東関東聖会 / 11月3日(水)

会場|| 市川サンシティ

講師|| 古波津保秀師

▽静岡聖会 (DVD聖会)

11月3日(水) 前後に各教会開催

▽中京聖会(オンライン開催)

9月19日(日) 午前10時30分

▽北越聖会 / 10月31日(日)

新潟地区、北越地区共に録画を用いて各教会で開催

▽関西聖会 (YouTube開催)

9月20日(月・祝) 午前

講師|| 南場良文師

▽中国聖会 DVD (藤本満師)

により各教会において開催

▽沖繩聖会 / 10月25日(日)

講師|| 岩上祝仁師

■世界宣教局

▽世界宣教局運営委員会 9月2日(火) 午後1時30分

▽世界宣教局秋の局員会 9月28日(火) 午後1時30分

初めての試みですが、IWFの宣教師方も局員会にご招待し、オンラインを通して交わりの時を持つ予定です。

▽フィリピンの豊田常喜・恭子宣教師は、2月に申請していた宣教師ビザと外国人登録証が無事更新されました。

▽11月21日(日)は宣教師日です。まもなく宣教師日のための動画作成が始まります。お祈り下さい。

▽月々の世界宣教献金、コイン献金にも引き続きご協力下さい。

《IWF関係》

▽ホワイト宣教師は、オンライン漫画(ミニストーリー Drawbridge Creations)の初めての漫画シリーズとして、「Waypoints」を

8月13日よりスタートされました。お祈り感謝すると共に、引き続き

主の導きをお祈りください。

■教育局

*教育局ホームページが整備公開されています。ぜひアクセスして、個人&教会でご活用ください。

〈教育部・生涯学習課〉

▽牧師研修会(有志の牧師対象、Zoomオンライン)

日時|| 10月21日(木) 午後1時30分~4時

テーマ|| 「私たちのアイデンティティ「きよめ」の再確認を」

発題者|| 蕨田順子師、小川宣嗣師

プログラム|| デイポジション、発題&質疑応答、グループ別分かち

合い。申込先||

kenshu2021@immanuel.or.jp

担当窓口|| 田辺寿雄師、佐藤信行師、古川恵子師

*生涯学習課のホームページに、7月20日に開催された若手牧師研修会の発題「牧師と学び」(野田禎師)の動画も公開されています。

〈教育部・信徒教育課〉

▽信徒向け聖書講座(各教会・個人で自由に視聴可能、無料)

内容|| 「使徒の働き」の学び(第10回目まで公開中)

講師|| 岩上敬人師(丁EA総主事)

教団公式サイト「教育局|| 信徒教育課」からアクセス可。

〈青少年部・青年課〉

▽第6回九州青年大会 (Zoomオンラインによる開催)

日時|| 9月19日(日) 15時~17時

テーマ|| 「それでもなお」

講師|| 吉村百合恵師(久留米教会)

受付窓口|| 峯尾仰生師(北九州教会)

▽ビルド (YS) を名称変更)

会合|| 毎月1度、テーマを決めてZoomで開催中。毎回15~20名程度の方々が参加中。担当窓口||

吉村和記師、川村和臣師

▽eラーニング「ウェスレーをさつくりガッツリ学ぶ」藤本満師

申込み方法|| 下記

のQRコードを使用

うか、大津博子師

にお問合せください。

申込みは <http://face-online.jp> のフォームから。

▽聖宣神学院

▽夏期実習は後期に入りました(9月26日まで)。帰院日は9月27日(月)です。

▽9月も神学院祈り会は行いません。

▽10月のオープン・キャンパスは行いません。

▽BTC同窓会セミナー・総会

11月16日(火)、オンラインで開催。

セミナーは午前10時/午後7時半の2回、講師は石田学師。総会は午後2時からです。詳細は「同窓会ニュース」と共に送付します。

▽出版事業部

〈会議〉9月3日(金)

出版事業部全体会 (Zoom会議)

▽横山谷子師(引退牧師)の住所

が変更となりました。

737-0035 広島県呉市長迫町10

・3 呉ベタニアホーム長迫

教報PDFパスワード|| 7383

新生宣教団 定価 一部110円(税込)

郵便振替 001107133609

消息報告

